

### インターン生紹介

金本 龍平 (2025年度インターン生)

2025年度のインターン生として、派遣されました金本龍平です。私は現在大学2年生で、主に環境問題や、災害リスクを探求しています。

私が最も関心のある環境問題は、環境ホルモンを筆頭とする有害汚染物質です。この問題は、恥ずかしながら、大学に入るまではほとんど知らず、義務教育や高校の授業では全く触れられなかった分野です。私は大学でこの問題を扱う授業を受けたことがあり、耳にする機会がりましたが、環境以外の分野を専攻するほとんどの人が知らない問題であると思います。中学校の歴史の授業では、有害物質に関連する公害問題を習いました。しかし、公害対策基本法が制定されるなどし、問題はさも良い方向に向っているような感じで授業がされました。つまり、この問題はほとんど解決に向かっており、過去の出来事になっている、そう考える人も多いのだと思います。確かに、公害問題はその当時ほど深刻ではないと思いますが、有害汚染物質の影響は、今もまだ続いている状況です。

しかし、この問題の厄介な部分は、目に見える形で被害が確認できないということです。異常気象や、プラスチック問題に関しては、実際に映像を見て確認できる事ではありますが、有害汚染物質の影響は定量的に計ることが難しいと思われます。また、実際にそれが原因で起こった出来事であったとしても、本当に有害物質による原因なのか、証明することも困難です。さらに、有害汚染物質の影響が仮に分かったとしても、我々一般市民がどう解決すべきなのかも不透明な部分が多い、環境問題の中でも極めて難しい部類になると思います。

実際に、環境ホルモンが起因して、生殖異常による少子化が進行していると言われたり、脳に悪影響があり、発達障害を持つ人が増えていると言われてはいますが、早急に対処しようとしてもなかなか難しいですし、第一信じる人も少ないのではないかと思います。そのため、どうしても他に比べて後回しにされやすい環境問題であり、気づいた頃にはもう手遅れになっている事態も想定できます。この問題は専門家などの有識者ではないと理解が難しいと思うので、今後どのようにすれば、無関心層にも広く周知することができ、問題解決につなげることが出来るのか、今後の動向に着目していきたいと思います。

私がインターン活動を通して、最も取り組みたいことは、様々な勉強や経験を通して、今後のキャリアを考えることです。私自身、来年には就活を控えており、まさに今、人生の岐路に立たされています。元々環境問題には興味がありますが、今後探求したい学問や分野は何なのか、自分が本当に興味をもってやりたいことは何なのか、自分自身を理解するきっかけにもなると思います。また、インターン活動を通して、様々な本を読む機会を設けて頂いています。今は情報社会で、インターネットやYouTubeの動画を受け身で学ぶことが多く、自身で能動的に知識を蓄えるという行為をしなくなっている気がします。それ故に、本を読むたびに、自身の知識の浅はかさを実感することが多々あります。そのため、このインターン活動を通して読書をする習慣を身に付け、活動が終わった後も継続させ、生涯を通してあらゆる知識を増やしていければと思います。